

令和4(2022)年に創業70周年を迎える株式会社スプリード(香芝市五位堂・佐野寛代表取締役)は、これまで培った縫製技術や経験を活かし、1g単位で調整できる新生児の体重に合わせた記念のぬいぐるみ「ウエイトベア」や、オリジナルネーム刺繍を入れた野球グローブの受注など「世界に一つだけの贈り物」をコンセプトに各種商品を打ち出している。「努力を続け、100年企業を目指したい」と語る佐野社長に話を聞いた。

Made
in
奈良

香芝市 株式会社スプリード



代表取締役
佐野 寛さん

100年企業へ培った技術で

1g単位で重さが調整できるウエイトベア、足裏にはメッセージを刺繍できる



同社は昭和27年(1952年)に縫製工場を立ち上げ創業。佐野社長は長男として同40年(1965)年に誕生した。幼少期から工場の中で遊び、常に身近に「糸」がある生活を過ごした。「ほうきを使って弟と野球をして、工場内の糸を倒してはよく怒られていました」と、佐野社長は笑顔で浮かべる。

時に義理の兄に「工場をどないすんねん」と言われ会社を引き継ぐことにしました。当時の佐野社長は「商品力、商いの本質を変えないといけない」という思いから、新しい機械を導入するなど体制の強化を図りました。しかし当時のバブル崩壊で商品が日本になく、メーカーさんが中国や台湾、タイといった海外へ出ていきました」と言う。

そんな中で佐野社長は半

ウエイトベアやオリジナルネーム刺繍グローブ 世界に一つだけの贈り物を提供

年で50社以上へ営業をかけ、仕事を掴んでいった。そうして今も続く刺繍の基盤を作りあげた。さらにハンカチやタオル、ストールの仕事を受けたが、培った技術でブランド商品を生産するためのライセンスを取得していった。

「ぬいぐるみの足裏に刺繍を施したオリジナルの商品を作っています。商品にするまではたくさん苦労がありました。ぬいぐるみの製造工場が日本に少なかったことや、日本の生地が無くなる、また縫い手さんがいなくなるなど、どんなコストが上がっていきました」と佐野社長は当時を振り返る。

同社で販売するウエイトベアは、重さを1g単位で調整が可能。「自分が生まれた時の体重」に合わせ、結婚式の際に両親への記念贈答品として利用されている。「うちは『世界に一つだけの贈り物』をコンセプトにしています。赤ちゃんの重さにして、さらに足裏には好きなメッセージを刺繍することが出来ます。これは他にはない世界に一つだけのものです。結婚式以外にも記念の贈り物としてご利用いただけます」と説明する。

続けて「また、最近始めたものがオリジナルネーム刺繍を入れた野球グローブの製造販売です。これは、グローブ自体の注文を受け刺繍を入れる刺繍業者からできるサービスになりま

す。これまで培った経験と最新技術を使い、パーツ状態の革にイラストや名称などを刺繍しています。これは自分で使うといったものになります。贈り物ではなく自分用にしますが、これも世界に一つだけというものになります」と佐野社長は笑顔で声を弾ませる。

同社では、最新の機械を導入し、デザインを機械に輸入すると刺繍されたものが仕上がるようになっていく。しかし、入力の際に縫う方向や、縫い方を適切に指示するには知識と経験が必要のため、習得には約2、3年がかかるといいます。そうして出来る上は刺繍は、糸に当たる光りの反射や色合いが立体感を生み出し、インク印刷とは違う温もりを感じさせる。

佐野社長は最後に「うち

は来年に創業70周年を迎え

ます。コロナ禍でやっぱり

ものすごくしんどかった2

年間。この先どうなるかは



グローブの受注を受けオリジナルロゴや言葉などを刺繍可能



○創業＝昭和27(1952)年
○代表取締役＝佐野寛さん
○資本金＝500万円
○事業内容＝刺繍柄の企画および作成、縫製業
○本社住所＝香芝市五位堂3丁目461番地
○電話番号＝0745(51)0800
○ファクス＝0745(77)9520



<https://spread-japan.co.jp>